

研究倫理に関する添え状を作成するためのチェックリスト

本学会に投稿をお考えの方で、やむを得ない事由によって倫理審査を受けることができなかった場合や、所属機関に倫理委員会に相当する機関が存在しない場合、学会で研究倫理に問題が無いか審査を行った上、投稿論文受理の可否を判断します。「『コミュニティ心理学研究』執筆・投稿のてびき」の「研究倫理について」の項に記載した要領に従って研究倫理に関する添え状を作成し、初回投稿時に提出してください。添え状作成の際には、下記のチェックリストを参照ください。

- 研究協力者あるいは参加者への心理的、社会的、身体的な危害を与えないことについて記載している。
- 研究協力者あるいは参加者の生活に混乱が起きないように配慮したことについて記載している。
- 研究協力者あるいは参加者に対して、個人情報保護できる調査計画である。
- 研究で得られたデータ（個人情報を含む）の適切な保管について明確に記載している。
- 研究におけるインフォームドコンセントを得るための説明と同意に関しては主に下記の項目を説明したことを記載している。
 - 研究の目的、方法
 - リスク
 - 利益や変化が起きる可能性
 - 個人情報の保持とその限界
 - 研究結果の公表方法
 - 自由参加、罰則なしにいつでも参加を中止できること
 - 調査責任者、実施者の明記
 - 利益相反関係の有無の明記
- 学生、受講生、被支援対象者が研究に参加する場合には、上記のインフォームドコンセントに加え、以下の配慮について記載している。
 - 研究参加をすることに何らかの報酬がある場合や単位認定が条件となるならば、その説明責任。
 - 研究参加を拒否した場合、学生、受講生、カウンセリング対象者に不利益が生じないようにする。
 - 研究参加が自由意思によること。